

(一社) 茨城県環境保全協会 協会だより

平成 29 年度
第 9 号 (通巻第 42 号)
平成 29 年 12 月 1 日発行
一般社団法人茨城県環境保全協会
発行担当 広報委員会
水戸市平須町 1825-192 平須ビル 202
TEL 029-303-6007
FAX 029-303-6008
Mail info@kankyo-ibaraki.com

一般廃棄物適正処理推進大会 in 群馬

11月9日(木)午後2時30分から群馬県伊香保温泉において、「平成29年度一般廃棄物的処理推進大会 in 群馬」が、一般社団法人日本環境保全協会の主催で、全国会員団体から約300名が集まり開催されました。当大会は毎年全国各地を持ち回りの開催で、今回は昨年の愛知大会に続いての開催となり、当協会からは、秋山理事長、池田副理事長、早川理事、東ヶ崎事務局長及び会員企業の北茨城市企業衛生から細田様に参加いたしました。



大会は今年度新たに会長に就任した三条会長挨拶に始まり、当該年度における全国各地の会員において環境保全並びに会の運営に貢献された会員企業及び個人に対する表彰、そして事業報告として、一般廃棄物処理業に係る動向と対策について説明があり、参議院議員の山東昭子氏が会長を務める「環境保全議員連盟」に対する要望活動等の報告がありました。

要望としては、各種政策実現のための予算の確保から、許認可制度の適切な運用並びに適正契約の確保を図り一般廃棄物処理業の安定を確実なものとする、下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理業等の合理化に関する特別措置法(合特法)の適用推進等多岐にわたり、一般廃棄物処理業者の現状を踏まえての活動を行っている旨の説明があり、以下の大会

決議を採択して大会は終了いたしました。

【大会決議】

日本環境保全協会は昭和36年に日本初の清掃業者の全国団体として設立いたしました。爾来、半世紀を超えて一般廃棄物処理業者の健全な発展へ全会員一致団結のもと事業の推進を図ってまいりました。

私共は全国津々浦々で市町村行政に積極的に協力し、ごみ・し尿・生活排水の適正な処理事業を営み、地域の最前線で住民の清潔・快適・安心・安全な生活の確保へ向けて日々挺身しております。

これまで本会は数次の大災害に際し、全会員一致協力のもと被災地で刻々と排出・廃棄されるし尿・ごみ処理の復旧支援に努めてまいりました。このことから環境省の災害廃棄物処理支援ネットワークメンバーに任命されたところであります。今後におきましても災害復旧支援体制を堅持し、大規模災害発生時には全会員協力のもとに適切・迅速な救援活動を展開してまいります。

環境への負荷の少ない持続可能な社会を次世代に継承発展するため、地域に根ざした企業集団として、地域の環境保全と地域循環・地域創生に貢献する決意であります。

今日までの歴史実績と培った技術力を礎に一般廃棄物の公共性と重要性を確固たるものとするため、ここに強い連帯をもって以下7項目を満場一致決議致します。

- ① 清潔・快適・安心・安全な国民生活の確保に適正処理で貢献!
 - ② 災害時のライフライン確保へ全会を挙げて復旧支援活動展開!
 - ③ 廃棄物の適正処理確保が重要! 委託・許可制度の適正運用周知徹底!
 - ④ 適正契約・適正料金確保! 一般廃棄物処理業の経営安定確立!
 - ⑤ し尿処理体制確保の生命線・合特法の適用強化必須!
 - ⑥ 浄化槽普及促進! 適正清掃・保守点検・検査事業推進!
 - ⑦ 環境保全事業を総合的に担う企業集団へ会員組織連携強化!
- 平成29年11月9日

その後特別講演として、環境省の瀬川課長様から「廃棄物・リサイクル行政の最近の動向」について40分ほど講演いただき、また群馬県森林環境部長の須藤様より「群馬県の環境への取り組みについて」というテーマでご講演をいただきました。



環境省 瀬川課長

来年度の一般廃棄物適正処理推進大会の開催地は、熊本県と決定いたしました。昨年は大きな震災もあり、復興途上にある熊本県ですが、震災時に一般廃棄物処理業者が果たした役割など、興味深い話題についての講演などもあることと思われま

世界湖沼会議プレ会議に参加

来年度10月に本県において開催予定の世界湖沼会議のプレ会議が、つぐば国際会議場において、11月1・2日の両日開催されました。協会からは池田副理事長及び東ヶ崎事務局長が出席し、茨城県環境対策課の額賀係長より、当日の様子について寄稿いただきましたので、ご紹介させていただきます。

来年度10月に開催される第17回世界湖沼会議



(いばらき霞ヶ浦2018)の1年前となるプレ会議を、11月1日(水)、2日(木)の2日間、つぐば国際会議場において開催しました。多くの県民や国内の湖沼関係者等が集い、開催に向けた気運醸成



有森裕子氏

を因ることができま

【11月1日】

国内の湖沼関係者(湖沼行政関係者、研究者、市民団体等)約400名が出席

(1)特別講演

・バルセロナオリンピック、アトラン

タオリンピック女子マラソンの銀、銅メダリストである有森裕子様をお招きし、「スポーツは、きれいな水や豊かな自然があつてこそ成り立つもの。豊かな自然があり、健康な人が住んでいることが理想とする地域の姿。霞ヶ浦は茨城の宝であるので、霞ヶ浦への関心を高めていってほしい」とのお話をいただきました。

(2)事例発表及びパネルディスカッション

・事例発表では、持続可能な生態系サービスを目指して、人と湖沼の共生に向けた取組や課題、課題解決に向けた展望等について、市民団体や行政等4名の方から発表いただきました。

・パネルディスカッションでは、湖に行きたくなくなる魅力が薄れてきており、魅力をいかに取り戻すかが各湖沼共通の課題と認識することができ、来年の湖沼会議に向けて、課題を共有し、議論を深めていくことを確認しました。

【11月2日】

・湖沼の行政関係者や研究者等約50人が集い、来年の世界湖沼会議でのさらなる議論につながるよう、国内の湖沼に共通する課題等について意見交換を行いました。

・ラウンドテーブルディスカッションでは、流域連携の中で議論を進めていくことが必要、各湖沼で生態系が変化し生態系サービスのトレードオフがある、生態系の指標や基準値の必要性、などの意見がありました。

・最後に、湖沼会議に向けて国内湖沼の議論の枠組みを、生態系サービスを視点に提示していくことが確認されました。

11月度定例役員会の開催

11月16日(木)午前10時より水戸市内平須町の協会事務局において11月度の定例役員会を開催いたしましたので、当日の議事内容等についてご報告いたします。

出席理事
秋山理事長 小林・池田副理事長 犬塚・早川・星山・山村・岡島理事(理事14名中8名出席) 露崎・佐藤監事

協議事項

① 協会だよりについて
11月号の内容について広報委員会より提案があり、承認されました。

② 表彰関係について
茨城県や日本環境保全協会の表彰への推薦について継続して協議していくこととし、次回役員会までに担当役員が原案をまとめることとしました。

③ 新年会について
平成30年1月20日(土)に水戸京成ホテルにて行う新年会の司会等の役割分担を決めました。

報告事項

① 10月22日開催 グリーンフェスティバル2017について
先月号でご報告済のため割愛いたします。

② 10月27日開催 関東地区協議会秋季研修会について
先月号でご報告済のため割愛いたします。

③ 11月9日開催 一般廃棄物適正処理推進大会(群馬)について
表面をご覧ください。

④ 浄化槽の適正な維持管理の実施等について(茨城県)
茨城県環境対策課より、県内に登録のある浄化槽保守点検業者宛の標記文書が発信されました。内容としては11条検査の実施、保守点検の記録についてなどと同時に、法定の年1回以上の清掃を浄化槽管理者へ周知徹底することを依頼するものであります。当協会会員の中にも、清掃と同時に保守点検を行っている事業者が多いと思いますが、浄化槽管理者への啓もう活動を引き続きお願いいたします。また、清掃を行った後の清掃記録票の交付も全数について実施いただくようお願いいたします。

本年度2回目の不法投棄監視パトロールの実施について

以下の通り本年土2回目の不法投棄監視パトロールを行います。このパトロールは当協会の年度方針及び茨城県への活動計画の中にも含まれる大切な行事となりますので、会員の皆様の積極的な参加をお願いいたします。

開催日 平成30年2月3日(土曜日)
場所 つくば市内
尚、詳細につきましては、決まり次第文書にてご報告いたします。

平成30年新年会の開催について

来月1月20日(土曜日)17時より水戸市の水戸京成ホテルにおいて新年会を行います。当日は環境保全議員連盟に所属する衆参国會議員ならびに県議會議員の皆様及び水戸市長にもご出席いただく予定となっておりますので、会員の皆様へも積極的な参加をお願いします。

青年部短信「茨城県青年部主催の関東地区青年部合同研修会を開催しました」

11月17日(金)茨城県環境保全協会青年部主催の視察研修が行われました。当日は、10時に東京の大手町にあるJXビルに山村青年部長をはじめ茨城県、千葉県、埼玉県、群馬県、神奈川県、東京都の皆様が集合し、JXビルの地下にある皇居外苑豪浄化施設を見学しました。この施設は民間事業として、凝集剤を使用する方式で皇居のお堀の水を浄化しているとの説明を担当者から受けました。



浄化能力としては、1年間で皇居のお堀の水全てが施設で浄化できるとのことです。但し、常に汚水の流入がお堀にあるとのことと、夏になるとアオコの発生は依然より少なくないようですがまだあるそうです。その後、茨城5区選出の石川昭政衆議院議員のお口添えにより



衆議院第二議員会館にて、環境省環境再生・資源循環局廃棄物適正処理推進課長、瀬川恵子氏による「廃棄物・リサイクル行政の最近の動向」と題しての講演を、昼食をいっただきながら拝聴し、その後国会議事堂に移動し、ちょうど当日が衆議院において安倍総理大臣の所信表明演説が行われる予定だったので、総理大臣の所信表明演説を拝聴するという貴重な体験をいたしました。

その後は石川昭政衆議院議員自ら国会議事堂内を案内頂き、15時頃には、国会議事堂前で記念撮影を行いました。

このように、当協会の青年部では様々な活動を行っており、興味のある方の加入をお待ちしております。